

意見回答書

作成日 2025年 5月 26日

太陽光発電施設の設置予定場所	長野県塩尻市大字柿沢字永井坂886番1、886番4、887番1、887番4、886番5
----------------	---

意見 (質問・要望)	陳述者・提出者	回答
コンクリートブロックの敷設は西側だけですか。	参加者	はい。右側の山の方から来る水が西側にいかないようにするために設置します。北側住宅の方へは植林をいたします。
水は場内で浸透するという理解であっているか。浸透は本当にするのか。基本的に水は一切外へ出ないということか。	参加者	はい。現地の土で浸透試験を行い結果から浸透時間を算出しています。他発電所でも同じような調整池を作って問題なく機能しております。100年確率の雨で想定している規模の調整池を作り、全周にも外へ水が流れ出るのを防ぐための壁(小堤、土留)を設置して、発電所外へ水が出ないようにします。
壁があっても外から水が場内に入ってくるのでは。場外から入ってくる可能性を見込むべきでは。	参加者	森から流れてきた水が中に入らないかということかと思いますが、森は畑より水を蓄える能力がある＝水が流出しにくいいため、森の方から水が入ってくる可能性は少ないです。壁を設けてより外に出やすい畑内(場内)の水を外に出さずに、調整池で受け止める計画です。発電所敷地内の水は発電所の中で処理する計画のため、また、場外(森)の水がはいってくる可能性が低いことから、場外流入がない前提で検討しております。仕切りの壁を設けて発電所内については、我々が責任をもって対策をするというのが趣旨です。
地下へ浸透した水はどこへ行くのか。下の家のある土地の地盤に影響はないのか。	参加者	水はゆっくりじわじわと浸透していきます。土を掘ると水が出る層があると思いますが、その層で時間をかけて貯められていきます。いきなりどばっと地盤がぐちゃぐちゃになることはまず考えられません。排水計算書によると、1時間30cm、1分5mmの速さでゆっくり浸透していきますので、地下水の流れに対しても影響を与えないと考えております。
もし水が出たような時はなにか対策をするのですか。	参加者	そのようなことがありましたら、調査員を使って、原因を調査し、この池が起因で水が出ているということであれば、責任をもって対策を致します。また住宅側の池の側面はモルタル保護をして、住宅側の面は浸透しにくいようにし、残りの3面でゆっくりと浸透させる計画になります。

<p>家も既に建っているの、 なにかあってからでは困ります。</p>	<p>参加者</p>	<p>調整池がいきなり決壊することは考えられません。また監視カメラも設置しますので、監視をし続けます。なにかおかしいことがあれば、適宜住民の皆様にご報告させていただきます。原因を調査した上で、我々の設備がそれに対する被害を与えた場合はもちろん保証致します。</p>
<p>ボーリング試験のデータでもって浸透します、大丈夫です、なら納得できるが、データがないので説得力がない。</p>	<p>参加者</p>	<p>この地盤の浸透具合を現地で実測する浸透試験を実施したうえで計画をしているので、より実情に即した治水計画になっています。例えば想定外にあまりにも水が染み込まない、おかしいということであれば、ボーリング試験をして原因を追求します。</p>
<p>水は絶対に出ないということでしょうか。</p>	<p>参加者</p>	<p>水は出ません、出た場合責任をもって対策をする旨の協定を自治会様などと結ぶことは可能です。</p>
<p>10.7時間の浸透時間は、年数が立つとどうなるんですか。</p>	<p>参加者</p>	<p>初期の機能を取り戻すようなメンテナンス（浚渫）を1年に1回はします。</p>
<p>国道20号の上の山からの水が結構流れてくると思う。</p>	<p>参加者</p>	<p>国道に側溝があるので、そこで処理されているはず。また、発電所全周に壁を設置するので、国道からの水が場内に入らないようにします。</p>
<p>100ミリの雨が1時間降り続けてたら、44分後はあふれるということか。</p>	<p>参加者</p>	<p>44分間100ミリの雨が振り続ければ、44分以降は溢れてしまいますが、その前にその規模の雨が44分もふり続けるレベル＝気象庁から避難指示が出るはず。</p>
<p>1分5mmの速さで浸透する。平均というと、早く浸透する場合もあるということか。10.7時間は、カラになるまでということか。</p>	<p>参加者</p>	<p>平均なので、そうです。カラになるまでですが、完全に0というよりは5cm~20cmくらいは残る可能性はあると思います。</p>
<p>遠隔監視システムは第三者（我々）が確認することはできるのか。維持管理をきちんとしていることをどういう形で示されるのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>ご希望があれば、どういう監視をしているかという書面や映像をお見せすることは可能です。管理体制をお見せすることは可能です。</p>

<p>フェンスの位置とか盛土の位置とか現地で確認できますか。</p>	<p>参加者</p>	<p>工事が始まる前にお伺いさせていただきご説明致します。</p>
<p>パネルに有害物質は含まれないのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>鉛が0.1パーセント、それ以外のものは入っておりません。</p>
<p>コンクリートブロックの高さはどれくらいか。</p>	<p>参加者</p>	<p>2段を検討していますが、足りなければ適宜現場で対応いたします。</p>
<p>監視体制について。</p>	<p>参加者</p>	<p>24時間のカメラ監視は本社、東京の方で行われる予定です。24時間ずっと見続けているわけではないですが、録画しています。何か起きた時は松本市からそこに対応する人間がきます。門扉にもセンサーを付けて、門が明けられた際には発報します。電氣的に発電しているセンサーの監視は発電時にデータが送られてきます。ケーブルが盗まれたりしたら、そもそも発電しなくなっているので、アラートが来ます。</p>
<p>盗難について。夜でも異常はわかるのか。異常発生のアラームで近所に迷惑がかわからないのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>夜は発電していないのでわかりません。何を盗まれるかによります。ごさいません。盗難の多くは銅線ケーブルで、盗まれたらブレーカーが落ちます。そこで火花が散るとか、音や光がでるといったことはありません。また、盗難対策として、アルミケーブルを使用し、アルミケーブル使用の表示もします。</p>
<p>鹿が5,6頭いたが大丈夫か。</p>	<p>参加者</p>	<p>鹿が入ってこないようなフェンスを設置します。北海道の発電所で蝦夷鹿に破られたこともありません。</p>
<p>説明会のビデオ映像は県へ提出するのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>しません。国から要望があつて見せなさい、というときに国へ提出するものです。</p>

<p>電気を買い取る会社に説明会の内容は共有しているのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>計画はこういう形だということのご説明はさせていただきますいております。発電所の所有者は我々から変わらないのですが、買い取り先の会社は変わる可能性もあります。</p>
<p>現況の土側溝は、治水計画の中で生かされるのですか。それとも、埋め立て等によって生かされないのですか。</p>	<p>参加者</p>	<p>現況の土側溝は、埋め立てはせず、治水計画の中で活用されます。場内下流の調整池へ雨水を流す側溝の機能を持ちます。</p>
<p>治水計画では、予定敷地内の水をすべて調整池で受け止める形となっています。現況のサブ側溝、道路側溝への排水はどのように変わるのですか。</p>	<p>参加者</p>	<p>発電所内（＝フェンスの内側）に降る雨は、場内処理で完結させます。したがって、場内の雨水をサブ側溝や道路側溝へは排水しません。一方で、発電所外の雨水は現況と変わらずそれらに流入し得ますが、発電所内に降る雨量はもちろん差し引かれます。</p>
<p>2019年台風19号による長野県の豪雨では、ピークでは1時間最大降水量50mm、最大24時間も557mmを観測している。このような状況になった場合、今回説明された治水計画で対応できますか。</p>	<p>参加者</p>	<p>100年確率の雨+<math>\alpha</math>の容量で計画している調整池では、豪雨が降り始めてから4.8時間は524立米の雨を場外に出さずに済みますが、100年確率の雨+<math>\alpha</math>を超える降雨は受け止めきれず、受け止めきれなかった雨が下流に流れることになります。 「想定する許容値を上回る降雨の場合、どういうメカニズムで水が流れるか」という点では、池から溢れた分は、池の淵からさらに高い防災施設（小堤の上面など）を超えたところから流出していきます。この流出は、現況の流れ方とほぼ同じで、主にサブの側溝に頼って道路側溝へと繋がります。</p>
<p>20年後（撤去後）農地として復元できますか。</p>	<p>参加者</p>	<p>太陽光発電設備の撤去時に重機で土を起こす等を行うことで、農業ができる土地に戻すことは可能であると考えます。</p>
<p>法律やガイドラインの原文を示して欲しい。</p>	<p>参加者</p>	<p>質問者様へ法律及びガイドラインの原文（一部抜粋）を共有させていただきます。</p>

<p>浸透試験を詳しく説明して欲しい。</p>	<p>参加者</p>	<p>試験方法：①現地の代表地点にて、径20cm、深度0.6m程度の孔を削孔する。          ②得たいデータの取得ができそうな土質かどうか、判定する。          ③孔内の状況を観察し、ワイヤブラシ等で浸透面の手入れを行う。          ④浸透面をいためないように、砂利や碎石を底面に敷く。          ⑤水位計と給水機を設置する。          ⑥水を注入する。          ⑦3分前後間隔で、注入した水の減り具合を記録する。          ⑧上記から、技術的な算定式をもとに飽和透水係数を算定する。          試験結果：現地試験結果を受け、飽和透水係数として、  <math>3.94 \times 10^{-5} \text{ m/秒}</math>  <math>=0.142\text{m/時間}</math> を得ました。</p>
<p>質疑応答の提出方法にFAXも加えて欲しい。</p>	<p>参加者</p>	<p>普段、FAXをほとんど受信しないため、いただいたご質問を見落とす可能性があることを危惧して今回の受付の手段として採用いたしませんでしたが、次回以降FAXでの受け付けにつきましても記載させていただきたいと思います。</p>
<p>新聞で太陽光事業者がたくさん潰れているが大丈夫か。</p>	<p>参加者</p>	<p>大阪ガスも事業者なので大丈夫です。</p>
<p>〇〇さんの家側から水が出ないか。</p>	<p>参加者</p>	<p>U字側溝を敷設して調整池に入れるので大丈夫です。</p>
<p>染み出さないか。</p>	<p>参加者</p>	<p>染み出しの加減がわからないが、ダラダラと流れることはありません。</p>
<p>農地貸借の場合（今回のケース）、太陽光パネルの所有者はだれになりますか。</p>	<p>参加者</p>	<p>農地転用許可を受け、GDsPJ2合同会社が所有者となります。</p>

<p>この土地に流れてくるすべての水（正面の山の頂上から左右の法面含めてすべて）を計算すべきでは。</p>	<p>参加者</p>	<p>山の上からまで含めるのは現実的ではないです。この発電所すべての土地を使っても間に合いません。閘を決めて対応しています。市や県にも確認して計画を立てています。現状も既に水が流れて困っている方がいますが、当社が今回の設備を設置することで、現状より良くなることは確約いたします。</p>
<p>パネルが敷設される場所は浸透係数が違うのではないか。</p>	<p>参加者</p>	<p>その通りです。定められた計算式で計算しています。</p>
<p>流量計算は、PCで自動計算しているのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>定められた計算方式で自動計算しており、役所とも確認しています。</p>
<p>なぜ100年確率としたのか。一般的に今は100年確率ではないのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>一般的な決まりでは10年とか30年確率を採用すればよいことになっていますが、当社は地域の皆様に安心してもらえるように100年でやっています。一般的には30年程度です。大規模な太陽光発電所だと100年確率を求められることもあります。</p>
<p>横断側溝は土側溝か。崩落しないか。</p>	<p>参加者</p>	<p>崩落しないです。そのように計算しています。万一崩れたら補修します。</p>